

# 平成30年度後期保護者アンケート集計結果

色帯の区分：

よくできている

大体できている

あまりできていない

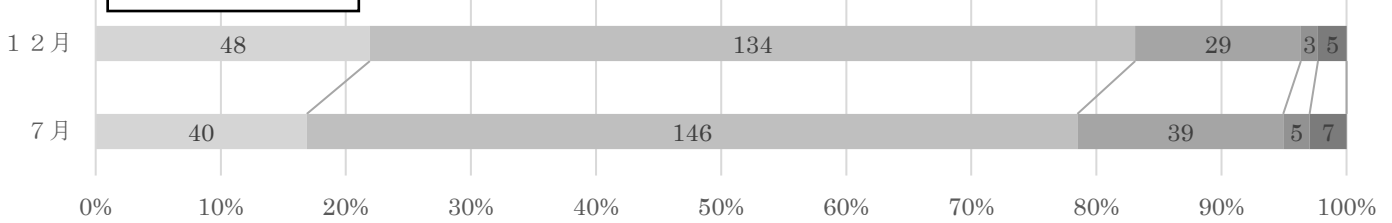
できていない

わからない

## (1) 児童の学習について

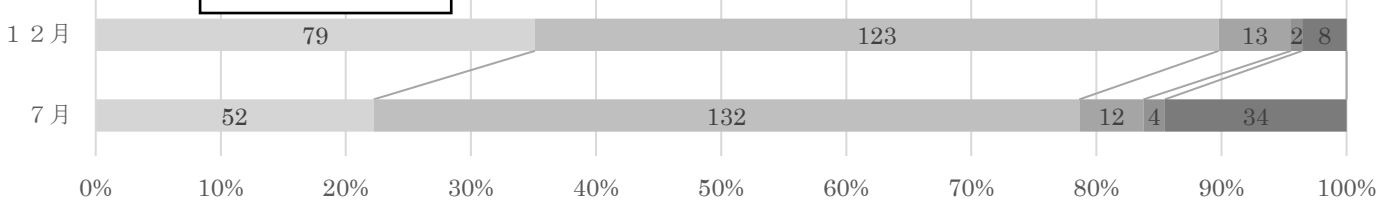
1 お子さんまたは四小の子どもは、自らすすんで学習に取り組んでいる。

よくできている



2 学校は、お子さんまたは学級の実態に応じて授業の工夫をしている。

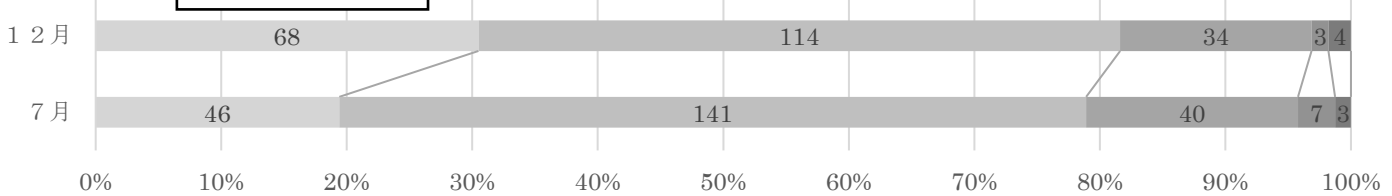
よくできている



## (2) 児童の健全育成について

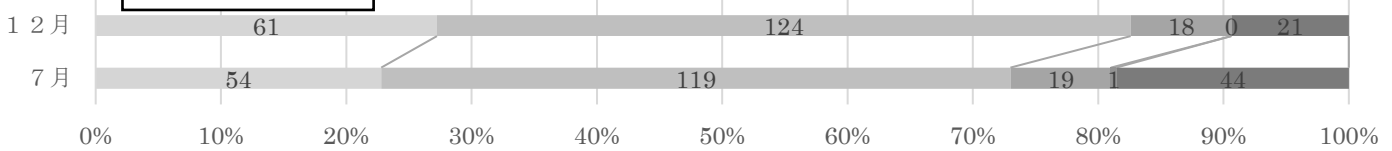
1 お子さんまたは四小の子どもは気持ちよく挨拶や返事を概ねしている。

よくできている



2 学校は四小の子どもの悩みを聞いたり励ましたりするなど、子どもに寄り添った指導を行っている。

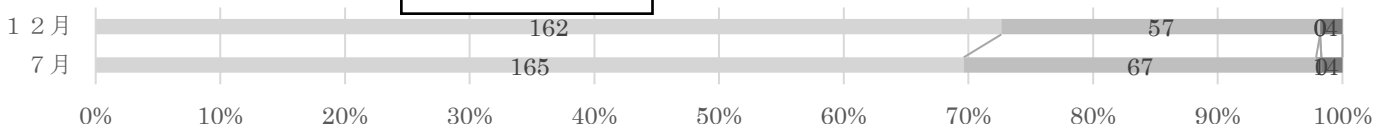
よくできている



## (3) 地域コミュニティについて

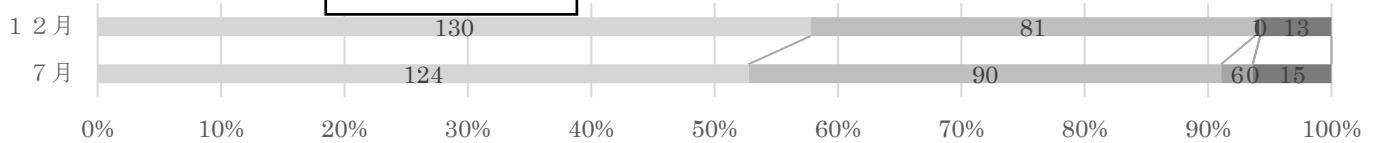
1 学校農園、ナラミースタッフやにじいろ広場による授業支援等、地域の特性や人材を生かした活動が充実している。

よくできている



2 地域の特性や人材を生かした様々な取組が、四小の子どもの対話、交流、表現力等の育成に活かされている。

よくできている



(4) 小中連携について

四中校区における、小中連携の取組（部活動体験・中学一日体験、小・中授業交流、運動会への教員相互参加等）を知っている。

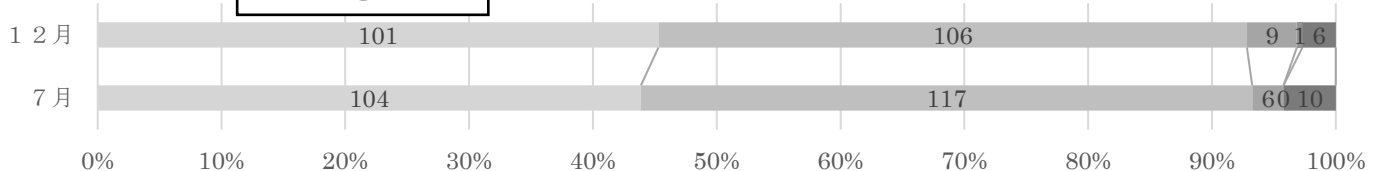
よくできている



(5) 体力向上について

学校は四小の子どもの生活習慣向上にむけて、保健便りやシャキットカード等の啓発活動や児童へのアンケートを行っている。

よくできている



「(1) 児童の学習」

- ・できているとの回答の割合は90%を超え、10%程度増加しました。校内研究「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導法の工夫」も2年目を迎え、「熱中できる授業」へと授業改善を図った結果、子どもの学習意欲も高まったと考えられます。今後も継続して取り組んでいきます。

「(2) 児童の健全育成」

- ・委員会活動を通して、あいさつや落ち葉拾いボランティアなど、高学年を中心に活動しています。
- ・あいさつは、できているとの回答は80%を超えているので、引き続きあいさつ広め隊活動を続けていきます。
- ・一人一人に寄り添った個別対応や毎学期の「ふれあい月間」の結果を子どもの指導に活かしたり保護者の方に伝えたりして、子どもに寄り添った指導を継続していきます。

「(4) 小中連携教育」

- ・小中連携の保護者への周知については、前期よりも若干増加しました。全体的に高学年保護者の皆様へのご理解が進んでいます。今後もお便りやHPで、取り組みについてお知らせしていきます。

